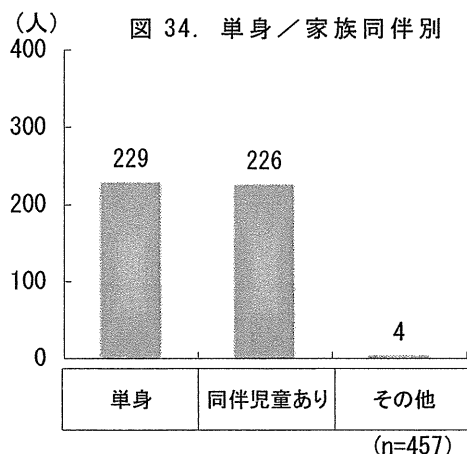


2. 単身／家族同伴別

女性入所者 457 人について、入所時の同伴者をみると、「単身」が 229 人 (50.1%)、「同伴児童あり」が 226 人 (49.5%)、「その他」が 4 人 (0.9%) である。「その他」の 4 人の内訳は、「実母」(3 人)と「母・妹」(1 人)である。



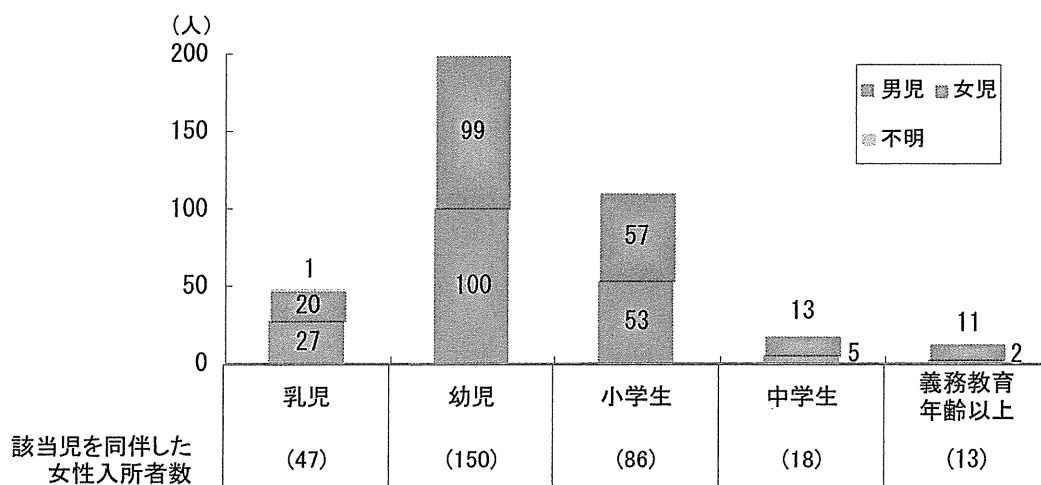
3. 同伴児の学齢・性別・人数

「同伴児童あり」の女性入所者 226 人に、同伴児の学齢・性別・人数を聞いた。下記は、同伴児の学齢別・性別延人数を示している。

226 人の女性入所者が同伴していた子ども数の総計は 388 人である。その内訳をみると、「幼児」が最も多く、199 人 (男児 100 人・女児 99 人) であり、51.3%と子ども総数の約半数を占めている。次いで、「小学生」が 110 人 (28.4% : 男児 53 人・女児 57 人) である。「乳児」は 48 人 (12.4% : 男児 27 人・女児 20 人・性別不明 1 人) である。

また、「中学生」は 18 人 (4.6% : 男児 5 人、女児 13 人)、「義務教育年齢以上」は 13 人 (3.4% : 男児 2 人・女児 11 人) であり、中学生以上層では男児の比率は低くなっている。

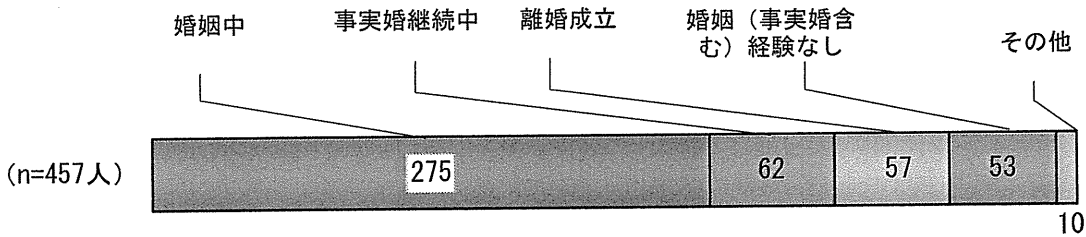
図 35. 同伴児の学齢別・性別 延人数



4. 配偶関係

女性入所者 457 人について、配偶関係をみると、「婚姻中」が最も多く 275 人（60.2%）である。「事実婚継続中」が 62 人（13.6%）、「離婚成立」が 57 人（12.5%）、「婚姻（事実婚含む）経験なし」が 53 人（11.6%）である。「その他」の 10 人（2.2%）は、無回答であったが調査票上の記載から、「死別」と判断できたケースを示している。

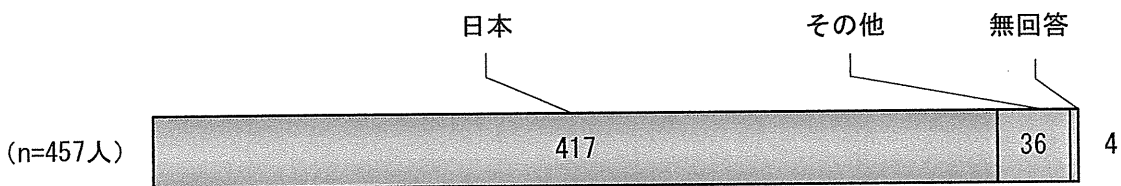
図 36. 女性入所者の配偶関係



5. 本人の国籍

女性入所者 457 人について、本人の国籍をみると、「日本」が大多数を占め、417 人（91.2%）である。

図 37. 女性入所者の国籍

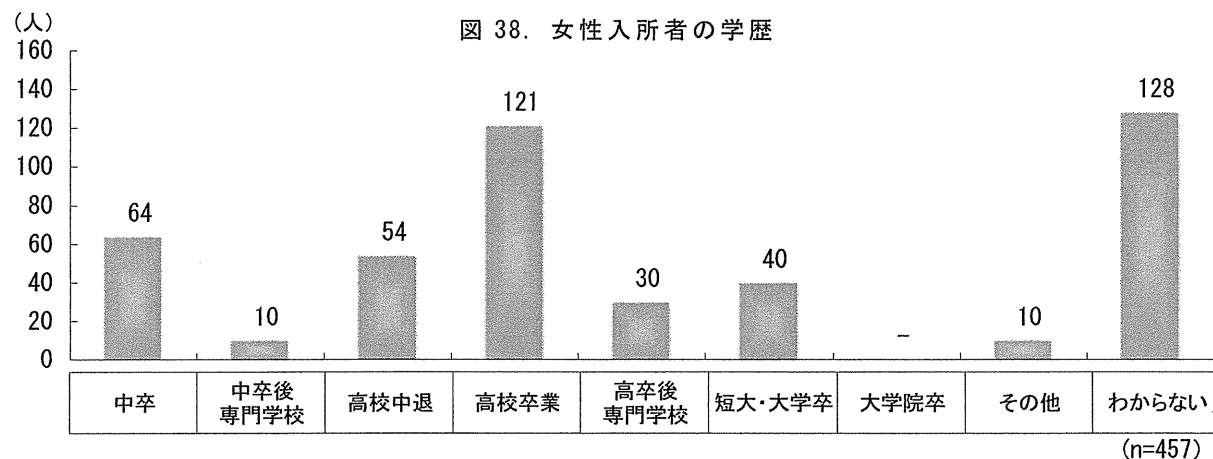


「その他」は 36 人（7.9%）であり、内訳は下記の通りである。フィリピン人が 16 人で多くなっている。

- ・ フィリピン 16 人
- ・ 中国 7 人
- ・ 韓国 5 人
- ・ ブラジル 2 人
- ・ ペルー 2 人
- ・ ボリビア 1 人
- ・ インドネシア 1 人
- ・ タイ 1 人
- ・ 台湾 1 人

6. 本人の学歴

女性入所者 457 人について、本人の学歴をみると、「わからない」という回答が 128 人 (28.0%) あった。「高校卒業」が 121 人で最も多く、「中卒」の 64 人、「高校中退」の 54 人、「短大・大学卒」の 40 人が続く。そこで、学歴が把握できた 329 人を母集団としてみると、中卒(中卒+中卒後高校中退+高校中退)は計 128 人 (329 人の 38.9%) であり、高卒 (121 人・36.8%) よりも多い結果であった。「短大・大学卒」は 40 人であり、学歴が把握できた 329 人中の 1 割強である。

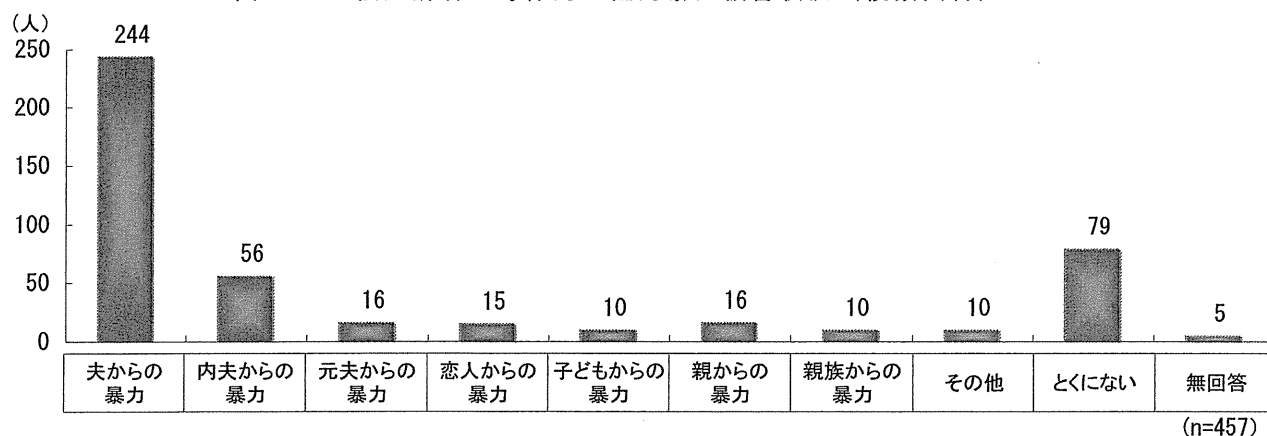


(3) 暴力被害状況

1. 身体的・性的暴力被害状況

女性入所者 457 人について、身体的・性的暴力の被害状況をみると (複数回答)、「夫からの暴力」が 244 人で多数を占める。また、「内夫からの暴力」(56 人)、「元夫からの暴力」(16 人)「恋人からの暴力」(15 人)である。このほか、他の家族員や親族等からの暴力もあり、「親から」16 人、「子どもから」10 人、「親族から」10 人、「その他」10 人であった。

図 39. 女性入所者の身体的・性的暴力被害状況 (複数回答)



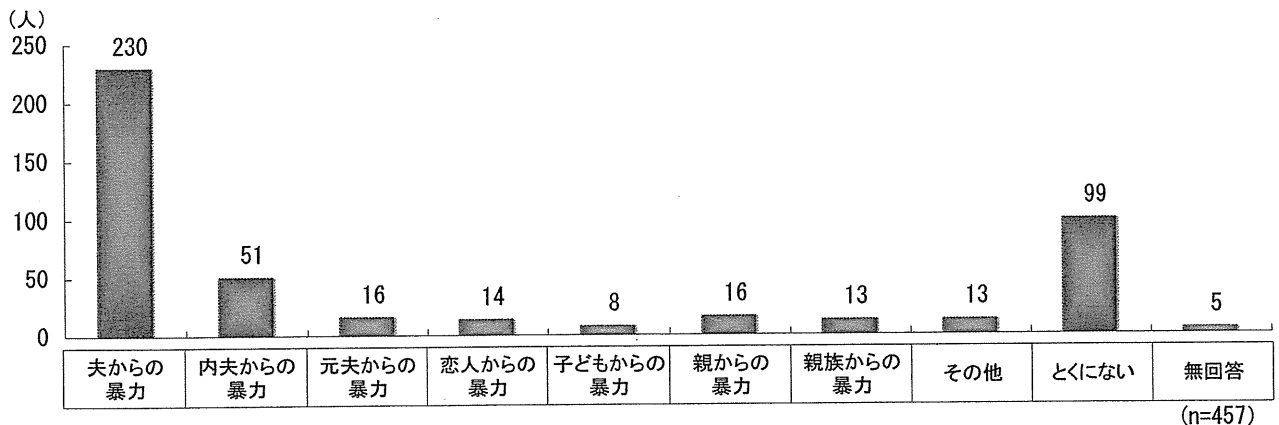
複数の暴力被害を受けているのは、457 人中 4 人であり、下記のような複合的な被害を受けている。

- ・ 「夫からの暴力」と「子どもからの暴力」
- ・ 「元夫からの暴力」と「子どもからの暴力」
- ・ 「親からの暴力」と「親族からの暴力」
- ・ 「親からの暴力」と「その他」(帰住先なし)

2. 精神的暴力被害状況

女性入所者 457 人について、精神的暴力の被害状況をみると（複数回答）、身体的・性的暴力被害状況と同様、「夫からの暴力」が 230 人で多数を占める。

図 40. 女性入所者の精神的暴力被害状況（複数回答）



複数の暴力被害を受けているのは、457 人中 8 人（うち、詳細が判明しているのは 7 人）であり、下記のような複合的な被害を受けている。

- ・ 「夫からの暴力」「親からの暴力」
- ・ 「夫からの暴力」「親族からの暴力」
- ・ 「夫からの暴力」「その他」（同居人（夫の友人））
- ・ 「内夫からの暴力」「その他」（内夫の姉からの金銭搾取）
- ・ 「元夫からの暴力」「子どもからの暴力」
- ・ 「親からの暴力」「親族からの暴力」
- ・ 「親族からの暴力」「その他」（母の内夫からの性虚）

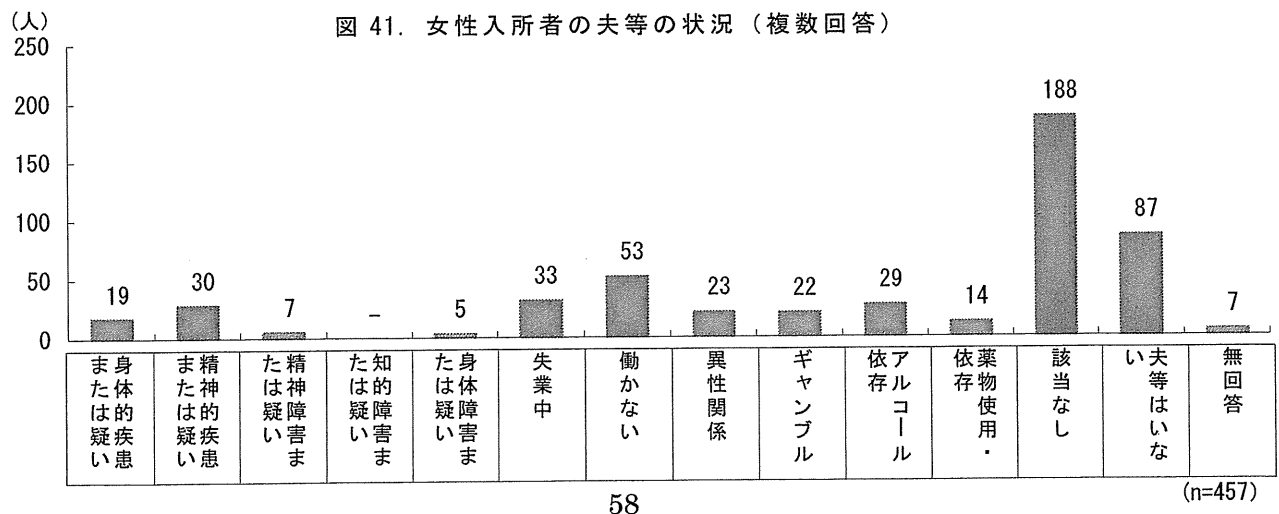
（4） 夫等・子どもの状況

1. 夫等の状況

女性入所者 457 人について夫等の状況をみると（複数回答）、「働かない」が 53 人で、次いで「失業中」（33 人）、「精神的疾患または疑い」（30 人）、「アルコール依存」（29 人）の順である。

「該当なし」は 188 人、「夫等はいない」が 87 人である。

図 41. 女性入所者の夫等の状況（複数回答）



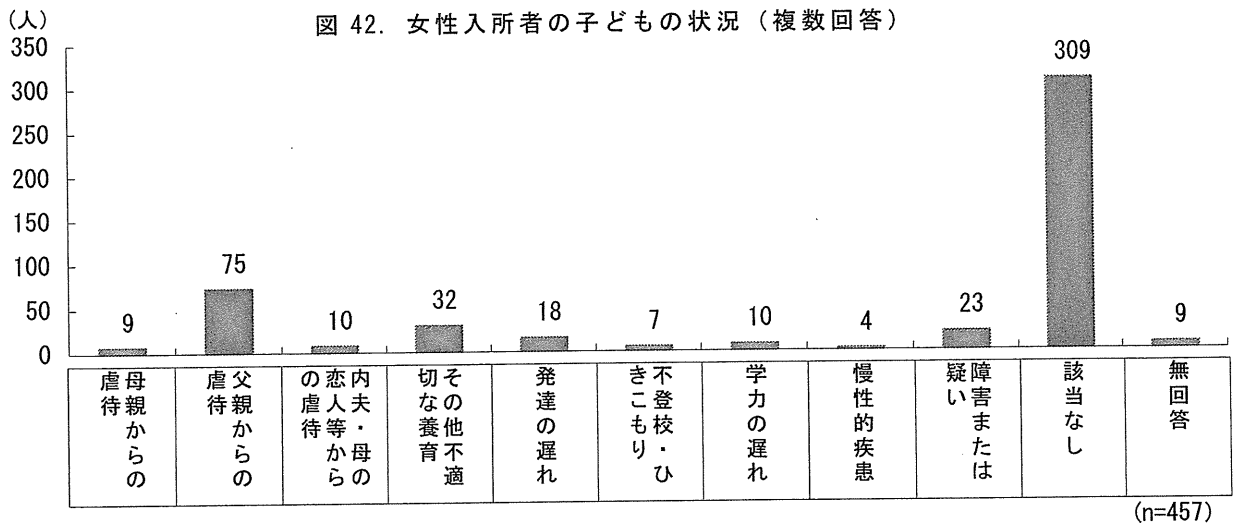
複数に該当するのは47人（うち、詳細が判明しているのは44人）であり、下記のように、夫等が複合的な問題を抱えている。

- ・ 「失業中」「働かない」（7人）
- ・ 「身体的疾患または疑い」「働かない」（4人）
- ・ 「働かない」「ギャンブル」（3人）
- ・ 「働かない」「アルコール依存」（3人）
- ・ 「身体的疾患または疑い」「精神的疾患または疑い」（2人）
- ・ 「精神的疾患または疑い」「失業中」（2人）
- ・ 「精神的疾患または疑い」「働かない」（2人）
- ・ 「精神障害または疑い」「働かない」（2人）
- ・ 「働かない」「薬物使用・依存」（2人）
- ・ 「異性関係」「ギャンブル」（2人）
- ・ 「身体的疾患または疑い」「失業中」
- ・ 「身体的疾患または疑い」「ギャンブル」
- ・ 「身体的疾患または疑い」「アルコール依存」
- ・ 「精神的疾患または疑い」「ギャンブル」
- ・ 「精神的疾患または疑い」「アルコール依存」
- ・ 「身体障害または疑い」「失業中」
- ・ 「失業中」「アルコール依存」
- ・ 「働かない」「異性関係」
- ・ 「精神的疾患または疑い」「失業中」「働かない」
- ・ 「精神的疾患または疑い」「働かない」「アルコール依存」
- ・ 「身体障害または疑い」「失業中」「アルコール依存」
- ・ 「失業中」「働かない」「アルコール依存」
- ・ 「精神的疾患または疑い」「精神障害または疑い」「異性関係」「薬物使用・依存」
- ・ 「精神的疾患または疑い」「働かない」「異性関係」「ギャンブル」
- ・ 「身体的疾患または疑い」「精神的疾患または疑い」「精神障害または疑い」「失業中」「働かない」「薬物使用・依存」

2. 子どもの状況

女性入所者 457 人について、子どもの状況をみると、「父親からの虐待」が 75 人、「その他不適切な養育」が 32 人と多くなっている。

「該当なし」は 309 人である（このなかには、子どもがいない人が含まれる）。



複数に該当するのは 32 人であり、下記のように、子どもが複合的な問題を抱えている。

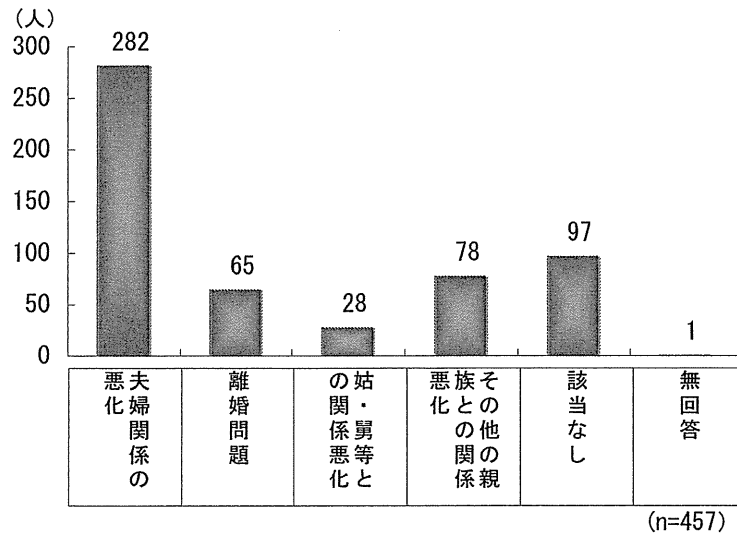
- ・ 「父親からの虐待」「その他不適切な養育」（4 人）
- ・ 「母親からの虐待」「父親からの虐待」（3 人）
- ・ 「父親からの虐待」「障害または疑い」（3 人）
- ・ 「父親からの虐待」「発達の遅れ」（2 人）
- ・ 「発達の遅れ」「学力の遅れ」（2 人）
- ・ 「父親からの虐待」「発達の遅れ」「学力の遅れ」「障害または疑い」（2 人）
- ・ 「母親からの虐待」「その他不適切な養育」
- ・ 「父親からの虐待」「不登校・ひきこもり」
- ・ 「父親からの虐待」「慢性的疾患」
- ・ 「内夫・母の恋人等からの虐待」「その他不適切な養育」
- ・ 「その他不適切な養育」「発達の遅れ」
- ・ 「その他不適切な養育」「不登校・ひきこもり」
- ・ 「不登校・ひきこもり」「障害または疑い」
- ・ 「父親からの虐待」「その他不適切な養育」「発達の遅れ」
- ・ 「父親からの虐待」「その他不適切な養育」「障害または疑い」
- ・ 「父親からの虐待」「発達の遅れ」「学力の遅れ」
- ・ 「父親からの虐待」「発達の遅れ」「障害または疑い」
- ・ 「父親からの虐待」「学力の遅れ」「慢性的疾患」
- ・ 「母親からの虐待」「父親からの虐待」「発達の遅れ」「学力の遅れ」
- ・ 「父親からの虐待」「その他不適切な養育」「発達の遅れ」「学力の遅れ」「障害または疑い」
- ・ 「その他不適切な養育」「発達の遅れ」「学力の遅れ」「慢性的疾患」「障害または疑い」

(5) 家族関係

女性入所者 457 人について家族関係をみると（複数回答）、「夫婦関係の悪化」が 282 人で最も多く、「その他の親族との関係悪化」が 78 人、「離婚問題」が 65 人、「姑・舅等との関係悪化」が 28 人の順になっている。

「該当なし」は 97 人である。

図 43. 女性入所者の家族関係（複数回答）



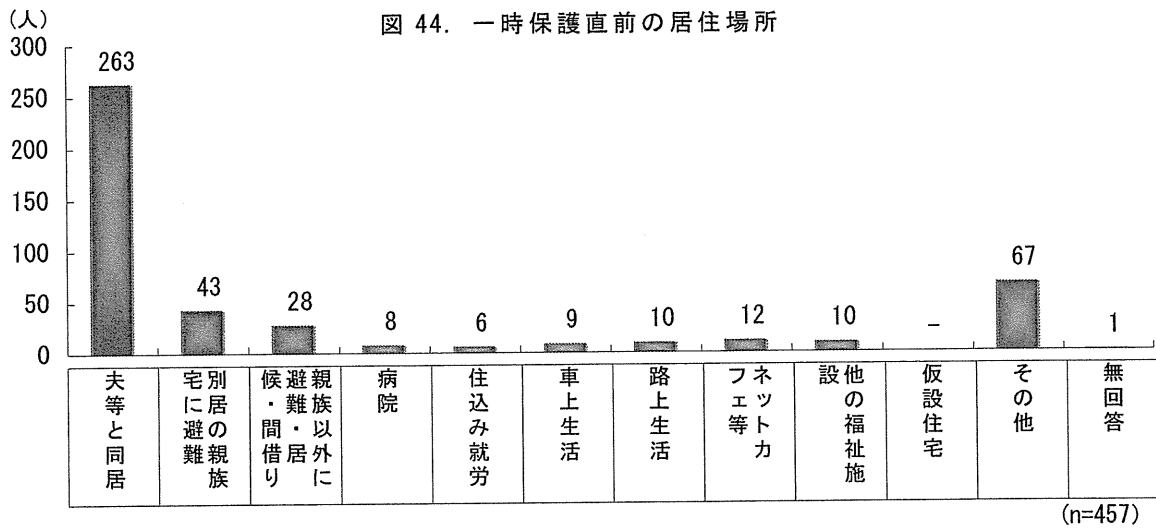
複数に該当するのは 79 人であり、下記のように、複合的な問題を抱えている。

- ・ 「夫婦関係の悪化」「離婚問題」（40 人）
- ・ 「夫婦関係の悪化」「姑・舅等との関係悪化」（16 人）
- ・ 「夫婦関係の悪化」「その他の親族との関係悪化」（9 人）
- ・ 「夫婦関係の悪化」「姑・舅等との関係悪化」「その他の親族との関係悪化」（5 人）
- ・ 「夫婦関係の悪化」「離婚問題」「姑・舅等との関係悪化」（3 人）
- ・ 「夫婦関係の悪化」「離婚問題」「その他の親族との関係悪化」（3 人）
- ・ 「夫婦関係の悪化」「離婚問題」「姑・舅等との関係悪化」「その他の親族との関係悪化」（2 人）
- ・ 「離婚問題」「姑・舅等との関係悪化」

(6) 居住環境

1. 一時保護直前の居住場所

女性入所者 457 人について一時保護直前の居住場所をみると、「夫等と同居」が 263 人 (57.5%) で最も多い。「別居の親族宅に避難」が 43 人 (9.4%)、「親族以外に避難・居候・間借り」が 28 人 (6.1%) である。



「その他」が 67 人であるが、内訳は下記の通りである。

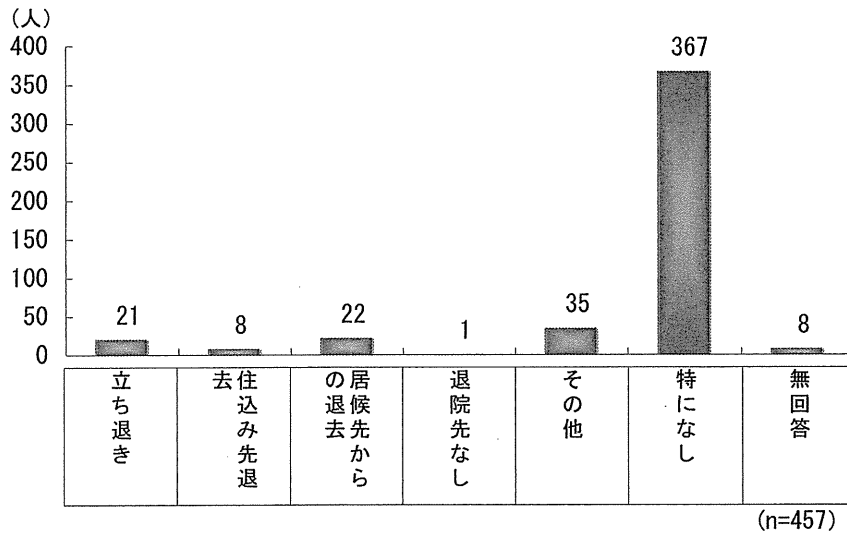
- ・ 自宅 (9 人)
- ・ ホテル (5 人)
- ・ アパート (7 人)
- ・ 親と同居 (2 人)
- ・ 親族と同居 (2 人)
- ・ 子と同居 (3 人)
- ・ 友人・知人宅 (3 人)
- ・ 駅
- ・ 会社の寮立ち退き
- ・ 警察
- ・ 男性と同居
- ・ 同一敷地内の別棟で生活
- ・ 夫等と別居
- ・ 母子生活支援施設を無断退所し、友人とホテルへ宿泊
- ・ 暴力団関係者宅
- ・ 民間シェルター
- ・ 離婚後同居継続

2. 居住先の喪失経験

女性入所者 457 人について居住先の喪失経験をみると (複数回答)、「居候先からの退去」が 22 人、「立ち退き」が 21 人、「住み込み先退去」が 8 人、「退院先なし」が 1 人である。

「特になし」が 367 人と大多数を占める。

図 45. 居住先の喪失経験（複数回答）



「その他」が 35 人であるが、内訳は下記の通りである。

- ・ 避難（6 人）
- ・ DV により避難（2 人）
- ・ 離婚により家を出る（2 人）
- ・ 帰る自宅なし
- ・ 居住先から出ていく
- ・ 兄から避難のため自宅を出る
- ・ 経済困窮による転居を重ねている
- ・ 警察介入（家宅侵入）
- ・ 施設退所
- ・ 自主退去
- ・ 自宅火災
- ・ 実家から家出
- ・ 実家を追い出された
- ・ 身の危険から自ら家出
- ・ 他県で保護歴あり
- ・ 退去勧告うけていた
- ・ 逮捕歴あり
- ・ 内夫宅から避難
- ・ 飛び出し
- ・ 夫から避難
- ・ 母に家を出された
- ・ 母子寮
- ・ 無断退院
- ・ 無断退所夜逃げ

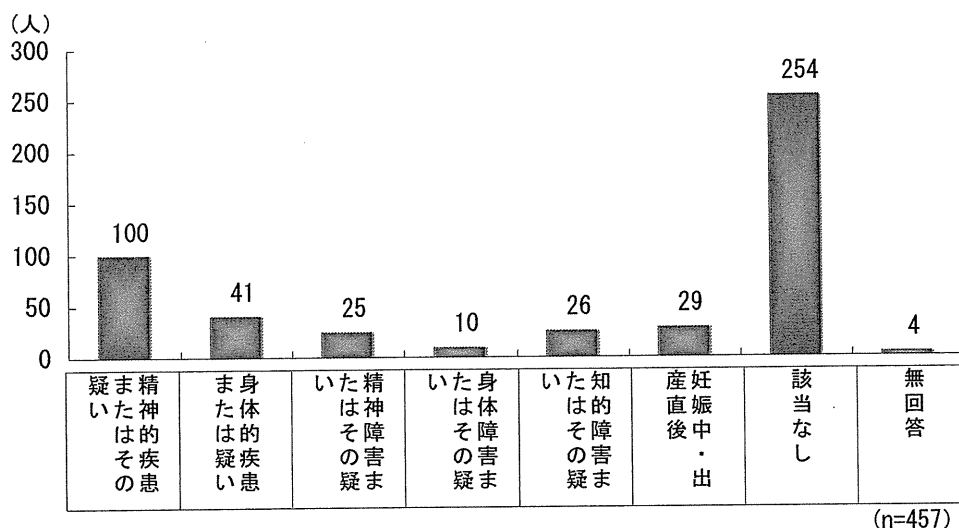
（7） 入所時の本人の心身の状況

女性入所者 457 人について入所時の本人の心身の状況をみると（複数回答）、「精神的疾

患またはその疑い」が 100 人で最も多い。「身体的疾患またはその疑い」が 41 人、「妊娠中・出産直後」が 29 人、「知的障害またはその疑い」が 26 人、「精神障害またはその疑い」が 25 人、「身体障害またはその疑い」が 10 人である。

「該当なし」は 254 人である。

図 46. 入所時の本人の心身の状況（複数回答）



複数に該当するのは 31 人（うち、詳細が判明しているのは 29 人）であり、下記のように、複合的な問題を抱えている。

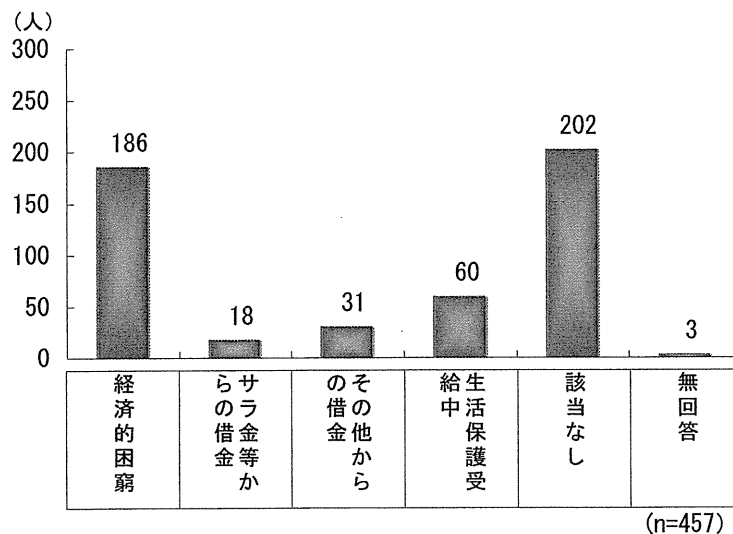
- ・ 「精神的疾患またはその疑い」「身体的疾患またはその疑い」（15 人）
- ・ 「精神障害またはその疑い」「知的障害またはその疑い」（3 人）
- ・ 「精神的疾患またはその疑い」「精神障害またはその疑い」（2 人）
- ・ 「精神的疾患またはその疑い」「身体障害またはその疑い」（2 人）
- ・ 「精神的疾患またはその疑い」「知的障害またはその疑い」（2 人）
- ・ 「精神的疾患またはその疑い」「妊娠中・出産直後」（2 人）
- ・ 「身体的疾患またはその疑い」「身体障害またはその疑い」
- ・ 「精神障害またはその疑い」「身体障害またはその疑い」
- ・ 「精神的疾患またはその疑い」「身体的疾患またはその疑い」「妊娠中・出産直後」

(8) 入所直前の経済状況

女性入所者 457 人について入所直前の経済状況をみると（複数回答）、「経済的困窮」が 186 人で最も多い。「生活保護受給中」が 60 人、「その他からの借金」が 31 人、「サラ金等からの借金」が 18 人ある。

「該当なし」は 202 人である。

図 47. 入所直前の経済状況（複数回答）

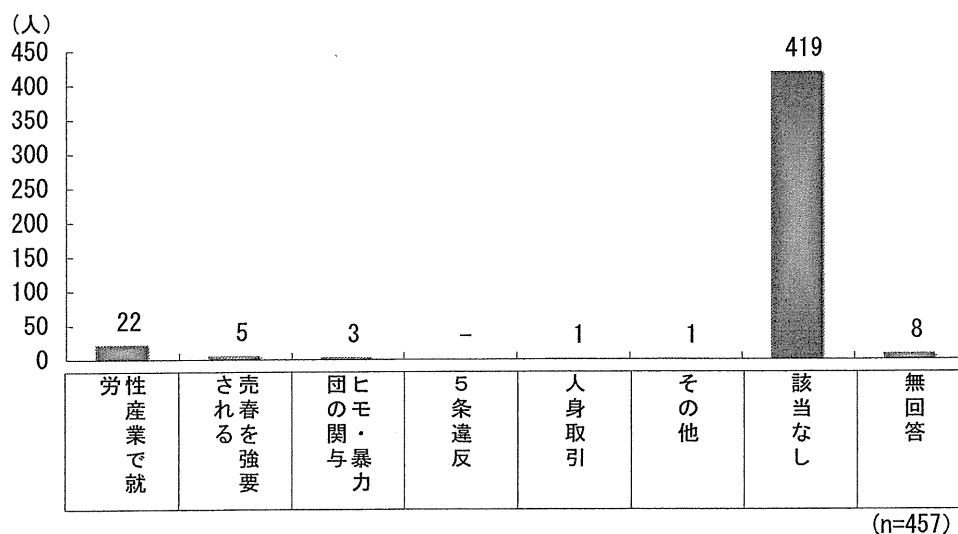


(9) 売買春等の関与

女性入所者 457 人について売買春等の関与状況をみると（複数回答）、「性産業で就労」が 22 人、「売春を強要される」が 5 人、「ヒモ・暴力団の関与」が 3 人、「人身取引」が 1 人、「その他」が 1 人である。

「該当なし」は 419 人である。

図 48. 売買春等の関与（複数回答）



3 資料（利用者用調査票B集計結果）

※単数回答の場合は実数と割合（％）を、複数回答の場合は実数を記載している。

（1）入所者数（平成23年8月）

■入所期間

		回答数	退所完了	入所 継続中	無回答
全体	実数	457	423	33	1
	%	100.0	92.6	7.2	0.2

■入所日数（退所完了）

		回答数	1週間 未満	1週間～ 2週間 未満	2週間～ 3週間 未満	3週間～ 4週間 未満	4週間～ 5週間 未満	5週間～ 6週間 未満
全体	実数	423	142	78	81	42	30	20
	%	100.0	33.6	18.4	19.1	9.9	7.1	4.7

6週間～ 7週間 未満	7週間～ 8週間 未満	8週間 以上	無回答	平均 (日)	延日数
14	8	8	-	16.0	6760
3.3	1.9	1.9	-		

■入所日数（入所継続中）

		回答数	1週間 未満	1週間～ 2週間 未満	2週間～ 3週間 未満	3週間～ 4週間 未満	4週間～ 5週間 未満	5週間～ 6週間 未満
全体	実数	33	10	7	5	6	2	1
	%	100.0	30.3	21.2	15.2	18.2	6.1	3.0

6週間～ 7週間 未満	7週間～ 8週間 未満	8週間 以上	無回答	平均 (日)	延日数
-	-	2	-	17.8	586
-	-	6.1	-		

(2) 利用者の概況

■入所時の本人の年齢

		回答数	10歳代	20-24歳	25-29歳	30-34歳	35-39歳	40-44歳
全体	実数	457	12	43	75	77	63	64
	%	100.0	2.6	9.4	16.4	16.8	13.8	14.0

45-49歳	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-69歳	70歳以上	無回答
34	26	18	18	13	12	2
7.4	5.7	3.9	3.9	2.8	2.6	0.4

■单身／家族同伴別

		回答数	单身	同伴児童あり	その他	無回答
全体	実数	457	229	226	4	-

■单身／家族同伴別 その他 人数

		回答数	1人	2人	3人以上	無回答	平均	延人数
全体	実数	4	3	1	-	-	1.3	5
	%	100.0	75.0	25.0	-	-		

■同伴児の学齢

		回答数	乳児	幼児	小学生	中学生	義務教育年齢以上	無回答
全体	実数	226	47	150	86	18	13	-

■同伴児の人数 1 乳児 男児

		回答数	0人	1人	2人	3人以上	無回答	平均(0人含む)	延人数
全体	実数	47	19	27	-	-	1	0.6	27
	%	100.0	40.4	57.4	-	-	2.1		

■同伴児の人数 1 乳児 女児

		回答数	0人	1人	2人	3人以上	無回答	平均(0人含む)	延人数
全体	実数	47	27	18	1	-	1	0.4	20
	%	100.0	57.4	38.3	2.1	-	2.1		

■同伴児の人数 2 幼児 男児

		回答数	0人	1人	2人	3人以上	無回答	平均(0人含む)	延人数
全体	実数	150	63	74	13	-	-	0.7	100
	%	100.0	42.0	49.3	8.7	-	-		

■同伴児の人数 2 幼児 女児

		回答数	0人	1人	2人	3人以上	無回答	平均(0人含む)	延人数
全体	実数	150	65	71	14	-	-	0.7	99
	%	100.0	43.3	47.3	9.3	-	-		

■同伴児の人数 3 小学生 男児

		回答数	0人	1人	2人	3人以上	無回答	平均(0人含む)	延人数
全体	実数	86	41	38	6	1	-	0.6	53
	%	100.0	47.7	44.2	7.0	1.2	-		

■同伴児の人数 3 小学生 女児

		回答数	0人	1人	2人	3人以上	無回答	平均(0人含む)	延人数
全体	実数	86	37	41	8	-	-	0.7	57
	%	100.0	43.0	47.7	9.3	-	-		

■同伴児の人数 4 中学生 男児

		回答数	0人	1人	2人	3人以上	無回答	平均(0人含む)	延人数
全体	実数	18	13	5	-	-	-	0.3	5
	%	100.0	72.2	27.8	-	-	-		

■同伴児の人数 4 中学生 女児

		回答数	0人	1人	2人	3人以上	無回答	平均(0人含む)	延人数
全体	実数	18	5	13	-	-	-	0.7	13
	%	100.0	27.8	72.2	-	-	-		

■同伴児の人数 5 義務教育年齢以上 男児

		回答数	0人	1人	2人	3人以上	無回答	平均(0人含む)	延人数
全体	実数	13	11	2	-	-	-	0.2	2
	%	100.0	84.6	15.4	-	-	-		

■同伴児の人数 5 義務教育年齢以上 女兒

		回答数	0人	1人	2人	3人以上	無回答	平均(0人含む)	延人数
全体	実数	13	2	11	-	-	-	0.8	11
	%	100.0	15.4	84.6	-	-	-		

■同伴児

		回答数	乳児 男児	乳児 女児	乳児 性別不明	幼児 男児	幼児 女児	小学生 男児	小学生 女児
全体	実数	457	27	19	1	87	85	45	49

		中学生 男児	中学生 女児	義務教育年齢以上 男児	義務教育年齢以上 女児	同伴児なし	無回答
		5	13	2	11	231	-

■配偶関係

		回答数	婚姻中	事実婚継続中	離婚成立	婚姻(事実婚含む)経験なし	その他	無回答
全体	実数	457	275	62	57	53	10	-
	%	100.0	60.2	13.6	12.5	11.6	2.2	-

■本人の国籍

		回答数	日本	その他	無回答
全体	実数	457	417	36	4
	%	100.0	91.2	7.9	0.9

その他内訳：

- ・ フィリピン 16人
- ・ 中国 7人
- ・ 韓国 5人
- ・ ブラジル 2人
- ・ ペルー 2人
- ・ ボリビア 1人
- ・ インドネシア 1人
- ・ タイ 1人
- ・ 台湾 1人

■本人の学歴

		回答数	中卒	中卒後専門 学校	高校中退	高校卒業	高卒後専門 学校	短大・大 学卒	大学院卒
全体	実数	457	64	10	54	121	30	40	-
	%	100.0	14.0	2.2	11.8	26.5	6.6	8.8	-

その他	わからない	無回答
10	128	-
2.2	28.0	-

(3) 暴力被害状況

■身体的・性的暴力被害状況

		回答数	夫からの 暴力	内夫からの 暴力	元夫からの 暴力	恋人からの 暴力	子どもか らの暴力	親からの 暴力	親族から の暴力
全体	実数	457	244	56	16	15	10	16	10

その他	とくにな い	無回答
10	79	5

■精神的暴力被害状況

		回答数	夫からの 暴力	内夫からの 暴力	元夫からの 暴力	恋人からの 暴力	子どもか らの暴力	親からの 暴力	親族から の暴力
全体	実数	457	230	51	16	14	8	16	13

その他	とくにな い	無回答
13	99	5

(4) 夫等・子どもの状況

■夫等の状況

		回答数	身体的疾患または疑い	精神的疾患または疑い	精神障害または疑い	知的障害または疑い	身体障害または疑い	失業中	働かない
全体	実数	457	19	30	7	-	5	33	53

異性関係	ギャンブル	アルコール依存	薬物使用・依存	該当なし	夫等はいない	無回答
23	22	29	14	188	87	7

■子どもの状況

		回答数	母親からの虐待	父親からの虐待	内夫・母の恋人等からの虐待	その他不適切な養育	発達の遅れ	不登校・ひきこもり	学力の遅れ
全体	実数	457	9	75	10	32	18	7	10

慢性的疾患	障害または疑い	該当なし	無回答
4	23	309	9

(5) 家族関係

■家族関係

		回答数	夫婦関係の悪化	離婚問題	姑・舅等との関係悪化	その他の親族との関係悪化	該当なし	無回答
全体	実数	457	282	65	28	78	97	1

(6) 居住環境

■一時保護直前の居住場所

		回答数	夫等と同居	別居の親族宅に避難	親族以外に避難・居候・間借り	病院	住込み就労	車上生活	路上生活
全体	実数	457	263	43	28	8	6	9	10
	%	100.0	57.5	9.4	6.1	1.8	1.3	2.0	2.2

	ネットカフェ等	他の福祉施設	仮設住宅	その他	無回答
	12	10	-	67	1
	2.6	2.2	-	14.7	0.2

■居住先の喪失経験

		回答数	立ち退き	住込み先退去	居候先からの退去	退院先なし	その他	特になし	無回答
全体	実数	457	21	8	22	1	35	367	8

(7) 入所時の本人の心身の状況

■入所時の本人の心身の状況

		回答数	精神的疾患またはその疑い	身体的疾患またはその疑い	精神障害またはその疑い	身体障害またはその疑い	知的障害またはその疑い	妊娠中・出産直後
全体	実数	457	100	41	25	10	26	29

	該当なし	無回答
	254	4

(8) 入所直前の経済状況

■入所直前の経済状況

		回答数	経済的困窮	サラ金等からの借金	その他からの借金	生活保護受給中	該当なし	無回答
全体	実数	457	186	18	31	60	202	3

(9) 売買春等の関与

■売買春等の関与

		回答数	性産業で 就労	売春を強 要される	ヒモ・暴 力団の関 与	5条違反	人身取引	その他
全体	実数	457	22	5	3	-	1	1

該当なし	無回答
419	8

民間シェルター利用者調査報告

I. 調査の実施概要

(1) 調査の目的

民間シェルターを利用した DV 被害者等の受けた被害実態、とくに、当該利用者にとっての困難な課題や状況について把握し、今後必要な支援策や支援モデルについて検討することを目的とする。

(2) 調査期間

2010 年 11 月～12 月

(3) 調査対象と方法

全国女性シェルターネットに参加している全国の民間シェルターを 2010 年度に利用した人のうち、2010 年度内に退所した人を対象とする。

全国女性シェルターネットの全面的な協力を得て、調査票をシェルターネット事務局から各シェルターに郵送し、回答は各シェルターからシェルターネット事務局に郵送により回収した。調査票の記入者はシェルタースタッフである。なお、調査票は日本国籍用と外国籍用の 2 種類がある。

(4) 調査票回収結果

依頼団体：54 団体

有効回答団体：50 団体

※回答のなかった 4 団体は、2009 度にはシェルター機能を有していなかったことによる。

有効回答件数：総計 416 票（日本国籍 391 票、外国籍 25 票）

(5) 回収した調査票の地域分布

① 日本国籍利用者調査票

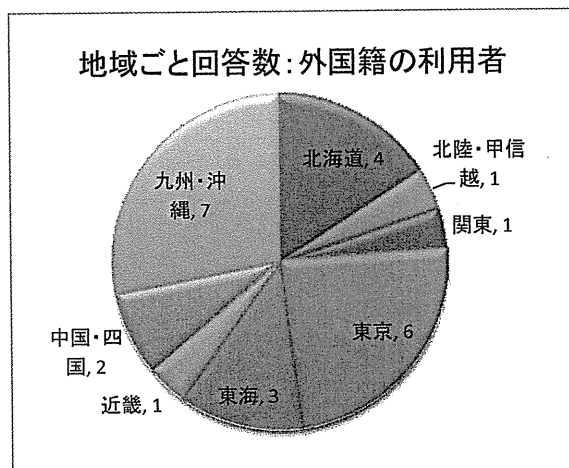
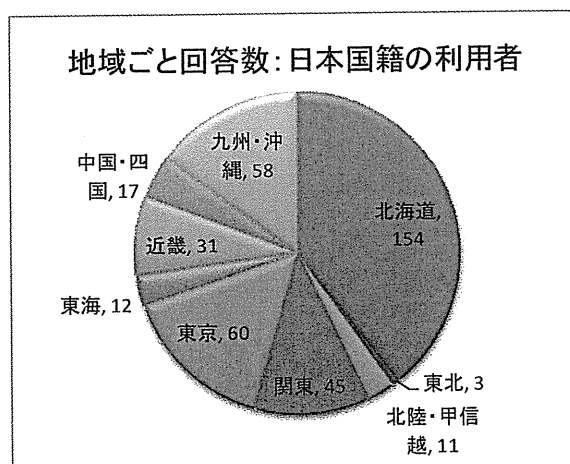
北海道 154、東北 3、北陸・甲信越 11、関東 45、東京 60、東海 12、近畿 31、

中国・四国 17、九州・沖縄 58

② 外国籍利用者調査票

北海道 4、東北 0、北陸・甲信越 1、関東 1、東京 6、東海 3、近畿 1、中国・四国 2、

九州・沖縄 7



(6) 調査項目